



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 平成26年8月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	46,706	△4.3	4,487	△17.1	4,184	△31.5	3,315	△23.5
25年12月期第2四半期	48,803	△8.8	5,414	0.3	6,105	5.4	4,335	20.7

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 3,029百万円(△38.2%) 25年12月期第2四半期 4,897百万円(35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	79 80	—
25年12月期第2四半期	104 22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	96,521	75,072	77.7
25年12月期	96,013	73,953	76.7

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 75,022百万円 25年12月期 73,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	30 00	—	30 00	60 00
26年12月期	—	30 00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 なお、平成26年12月期の1株あたり期末配当金については未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	2.0	11,000	11.4	11,000	1.1	6,800	△6.2	163 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	42,206,540株	25年12月期	42,206,540株
26年12月期2Q	846,601株	25年12月期	606,626株
26年12月期2Q	41,553,051株	25年12月期2Q	41,600,455株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成26年12月期の1株あたり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）の経済情勢は、米国では個人消費が堅調に推移し、景気は回復しています。欧州においても景気は持ち直しの動きが続いています。国内経済においては緩やかな回復基調が続いていますが、本年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動から一部、弱い動きも見られます。為替は、前期と比べ米ドル、ユーロともに円安で推移しました。

当社グループ関連市場は、デジタルカメラ市場は、レンズ交換式デジタルカメラタイプ、コンパクトデジタルカメラタイプ共に、市場の縮小が続いています。ドキュメントスキャナー市場は、低価格・コンパクトタイプを中心に市場が拡大しました。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。また、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を積極的に推し進めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は467億6百万円（前年同期比4.3%減）、連結営業利益は44億87百万円（前年同期比17.1%減）、連結四半期純利益は33億15百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①コンポーネント

当セグメントにおきましては、セットメーカーのニーズに的確に対応し、シャッターユニットや防振ユニット、絞りユニットなどの積極的な受注活動を展開してまいりましたが、デジタルカメラ関連市場がマイナス成長の状況の下、厳しい状況で推移し、売上は減少しました。

レーザースキャナーユニットは堅調に推移しました。また、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制の強化等を積極的に推し進め、引き続き原価低減に取り組んでいます。

これらの結果、当セグメントの売上高は250億37百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は35億71百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーにおいて、imageFORMULA（イメージフォーミュラ）シリーズは、高速スキャンが可能な高耐久タイプの「DR-G1130/G1100」、設置スペースを抑えた高速ラウンドスキャナー「DR-C125」、コンパクトな高速A4スキャナー「DR-M160」などの積極的な拡販活動を展開し、売上を伸ばしました。ハンディターミナルは、プリンター一体型ハンディターミナル「プレアGT-30/31」、グリップ型ハンディターミナル「プレアET-100」、電子マネーやクレジットカードの決済機能を搭載した「プレアAT-3300/3700」などの積極的な拡販活動を展開しましたが、厳しい状況で推移しました。

レーザープリンターは堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は164億67百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は16億円（前年同期比36.3%減）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、情報関連事業において、サーバーやネットワークの構築等、インフラ関連やシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、業務分析サービス（ログマネジメント）、銀行向け情報システム（entrance Banking）等の既存ソフトウェアの受注活動を積極的に展開しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は52億円（前年同期比3.6%減）、営業利益は25百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は965億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8百万円増加しました。流動資産は577億90百万円となり、3億44百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものです。固定資産は387億31百万円となり、1億64百万円増加しました。うち有形固定資産は350億58百万円となり、2億57百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は214億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億10百万円減少しました。流動負債は191億33百万円となり、4億81百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少によるものです。固定負債は23億15百万円となり、1億29百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は750億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億19百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.7%から77.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間においては、主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費と仕入債務の増加により、営業キャッシュ・フローは36億27百万円の収入（前年同期比22億33百万円減）となりました。また、投資キャッシュ・フローは新製品投資及び生産能力増強のための設備投資により24億27百万円の支出（前年同期比7億19百万円増）となりました。フリーキャッシュ・フローは11億99百万円の収入（前年同期比29億53百万円減）となりました。一方、財務キャッシュ・フローは配当金の支払や自己株式の取得により16億82百万円の支出（前年同期比4億35百万円増）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は265億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億53百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、平成26年1月28日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,000億円、連結営業利益110億円、連結経常利益110億円、連結当期純利益68億円)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,426	26,752
受取手形及び売掛金	23,883	24,680
リース投資資産	207	185
商品及び製品	1,166	1,501
仕掛品	2,887	2,645
原材料及び貯蔵品	98	97
繰延税金資産	447	321
その他	2,068	1,606
貸倒引当金	△739	△1
流動資産合計	57,446	57,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,248	13,921
機械装置及び運搬具(純額)	2,457	2,928
工具、器具及び備品(純額)	3,615	3,007
土地	13,784	14,486
建設仮勘定	694	713
有形固定資産合計	34,800	35,058
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	735	643
破産更生債権等	-	1,158
繰延税金資産	1,257	1,400
その他	882	807
貸倒引当金	△0	△1,158
投資その他の資産合計	2,875	2,851
固定資産合計	38,566	38,731
資産合計	96,013	96,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,329	15,044
リース債務	82	66
未払費用	1,476	1,181
未払法人税等	2,649	1,071
設備関係支払手形	54	16
賞与引当金	366	390
役員賞与引当金	40	12
受注損失引当金	33	35
その他	1,582	1,314
流動負債合計	19,614	19,133
固定負債		
退職給付引当金	2,056	1,911
役員退職慰労引当金	252	247
繰延税金負債	10	19
その他	125	136
固定負債合計	2,445	2,315
負債合計	22,059	21,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	59,561	61,629
自己株式	△1,071	△1,508
株主資本合計	73,054	74,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221	136
為替換算調整勘定	403	200
その他の包括利益累計額合計	624	337
新株予約権	225	-
少数株主持分	49	49
純資産合計	73,953	75,072
負債純資産合計	96,013	96,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	48,803	46,706
売上原価	38,132	36,762
売上総利益	10,670	9,943
販売費及び一般管理費	5,256	5,456
営業利益	5,414	4,487
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	25
受取賃貸料	25	24
為替差益	562	-
その他	78	31
営業外収益合計	693	80
営業外費用		
為替差損	-	357
その他	1	25
営業外費用合計	1	383
経常利益	6,105	4,184
特別利益		
投資有価証券売却益	675	-
新株予約権戻入益	9	225
その他	39	0
特別利益合計	724	225
特別損失		
固定資産除売却損	1	11
投資有価証券評価損	-	47
特別損失合計	1	58
税金等調整前四半期純利益	6,829	4,351
法人税、住民税及び事業税	2,405	999
法人税等調整額	80	36
法人税等合計	2,486	1,035
少数株主損益調整前四半期純利益	4,342	3,316
少数株主利益	6	0
四半期純利益	4,335	3,315

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,342	3,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△84
為替換算調整勘定	545	△202
その他の包括利益合計	555	△287
四半期包括利益	4,897	3,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,891	3,028
少数株主に係る四半期包括利益	6	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,829	4,351
減価償却費	2,059	1,997
のれん償却額	92	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51	24
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	△28
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△17	2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△92	△144
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△675	47
売上債権の増減額 (△は増加)	△391	△892
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△648	△107
仕入債務の増減額 (△は減少)	682	1,773
その他	△410	△861
小計	7,456	6,162
利息及び配当金の受取額	26	25
法人税等の支払額	△1,622	△2,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,860	3,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,655	△2,283
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△42	△37
投資有価証券の取得による支出	△69	△85
投資有価証券の売却による収入	1,139	-
貸付金の回収による収入	0	-
その他	△84	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,707	△2,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,245	△1,245
自己株式の取得による支出	-	△434
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,246	△1,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,922	△649
現金及び現金同等物の期首残高	28,489	27,326
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	△104
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,412	26,572

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,383	17,022	43,406	5,397	48,803	—	48,803
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	30	416	447	130	578	△578	—
計	26,414	17,439	43,853	5,528	49,381	△578	48,803
セグメント利益 又は損失 (△)	3,466	2,510	5,976	△32	5,943	△529	5,414

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	25,037	16,467	41,505	5,200	46,706	—	46,706
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	24	440	465	142	607	△607	—
計	25,062	16,908	41,971	5,343	47,314	△607	46,706
セグメント利益 又は損失 (△)	3,571	1,600	5,171	25	5,196	△709	4,487

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。